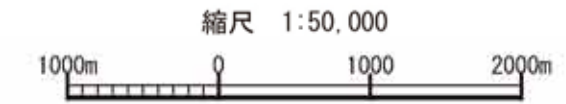
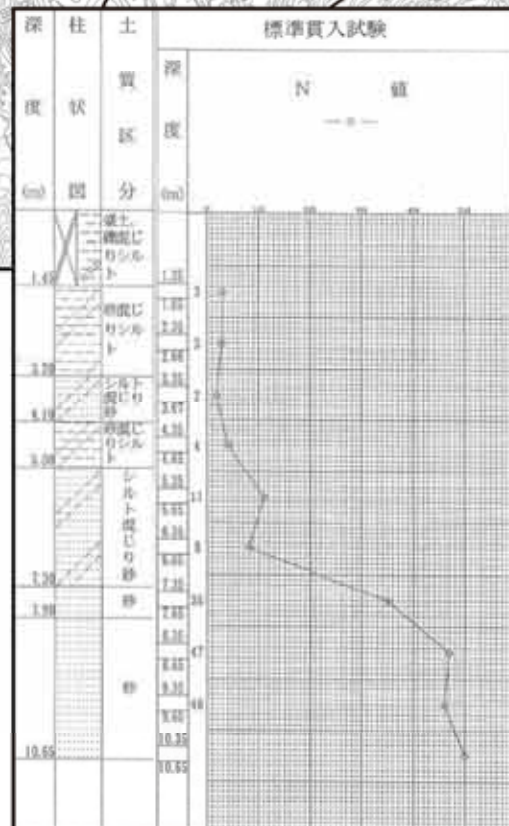


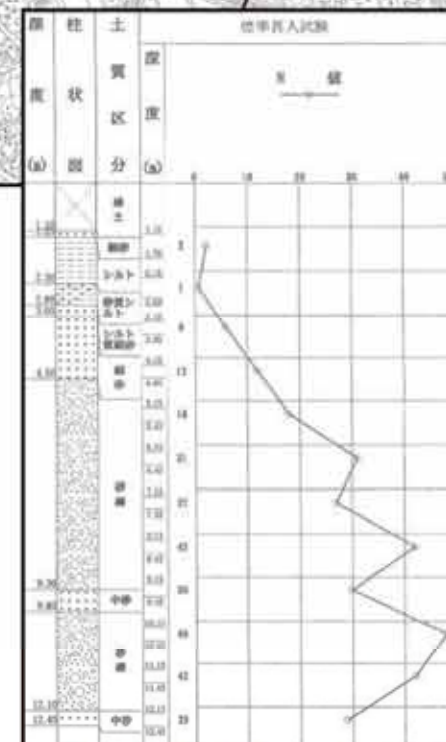
図番	図8.5.2
図名	既存ボーリング調査の 地下水位及びN値



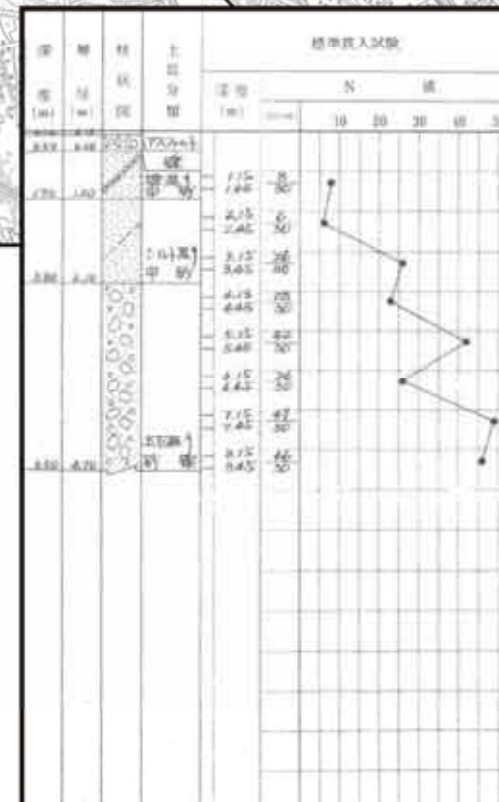
出典：
 ・ 峡東流域下水道整備事業 峡東流域下水道浄化センター調査委託報告書 平成9年9月 峡東流域下水道事務所
 ・ 都市計画流域下水道調査委託報告書 昭和56年3月 峡東流域下水道事務所
 ・ 峡東流域下水道笛吹川幹線調査委託報告書 昭和54年11月 峡東流域下水道事務所
 ・ 基幹河川改修事業沓掛川調査設計業務委託地質調査報告書 平成14年5月 峡東地域振興局石和建設部



- ・ 沖積層で全体に砂を主体とし、深度5m程度まではシルト分を多く含んでいる。
- ・ N値は深度10m程度までで2~50であるが、深度5m程度までは小さく、緩い地盤である。



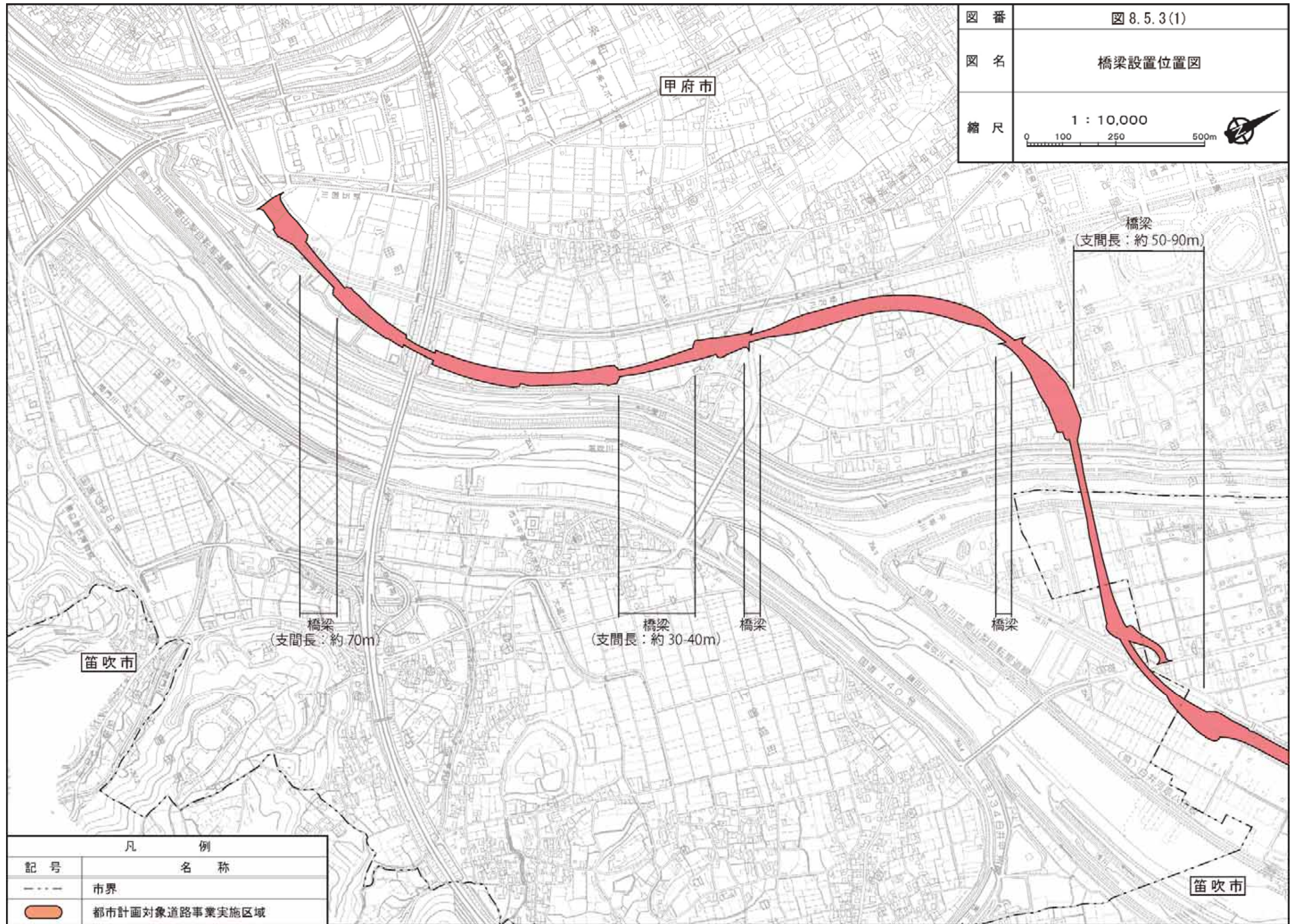
- ・ 沖積層で上部は砂やシルト、下部は砂礫を主体としている。
- ・ N値は深度12m程度までで1~48であるが、深度3m程度までは小さく、緩い地盤である。

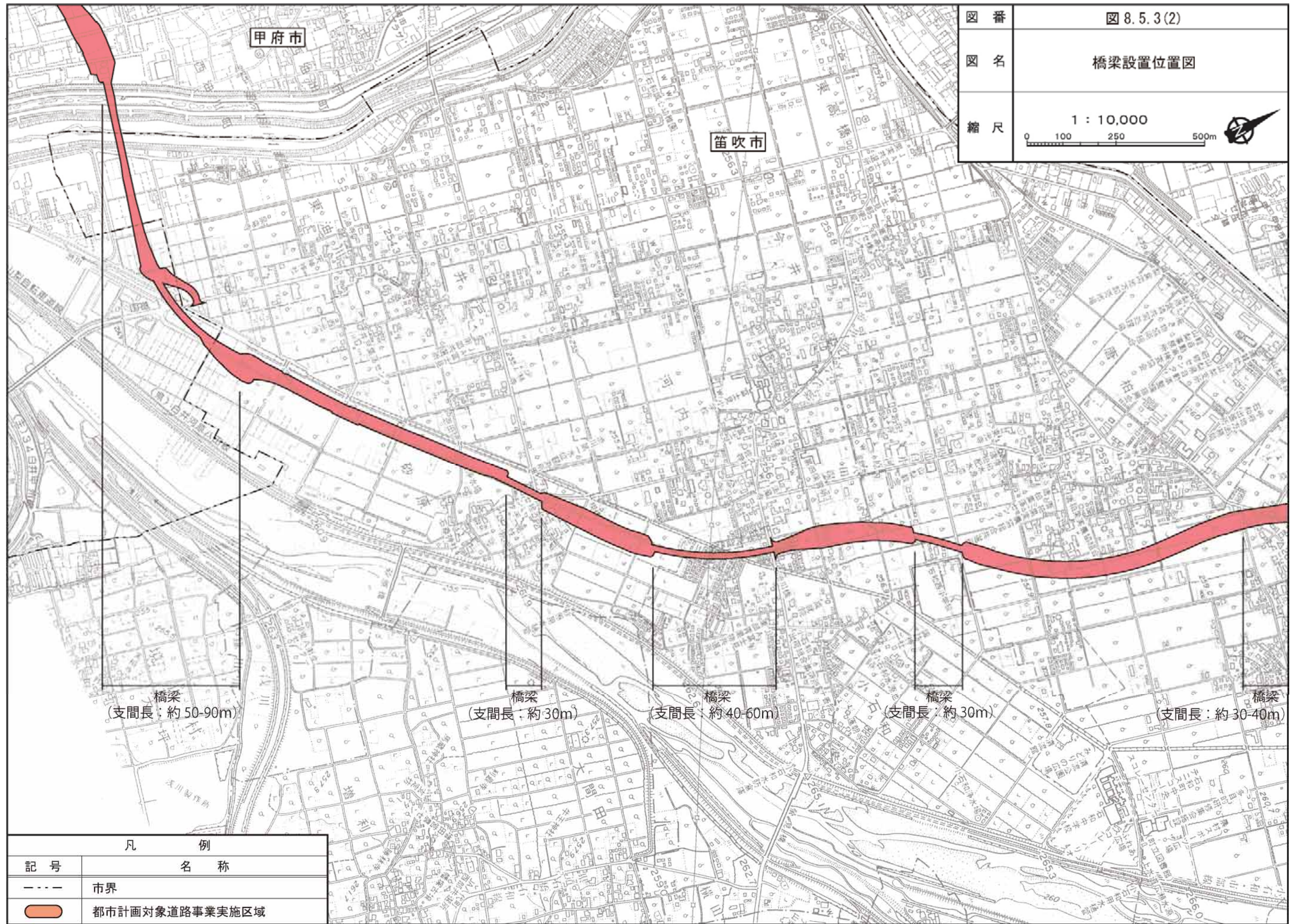


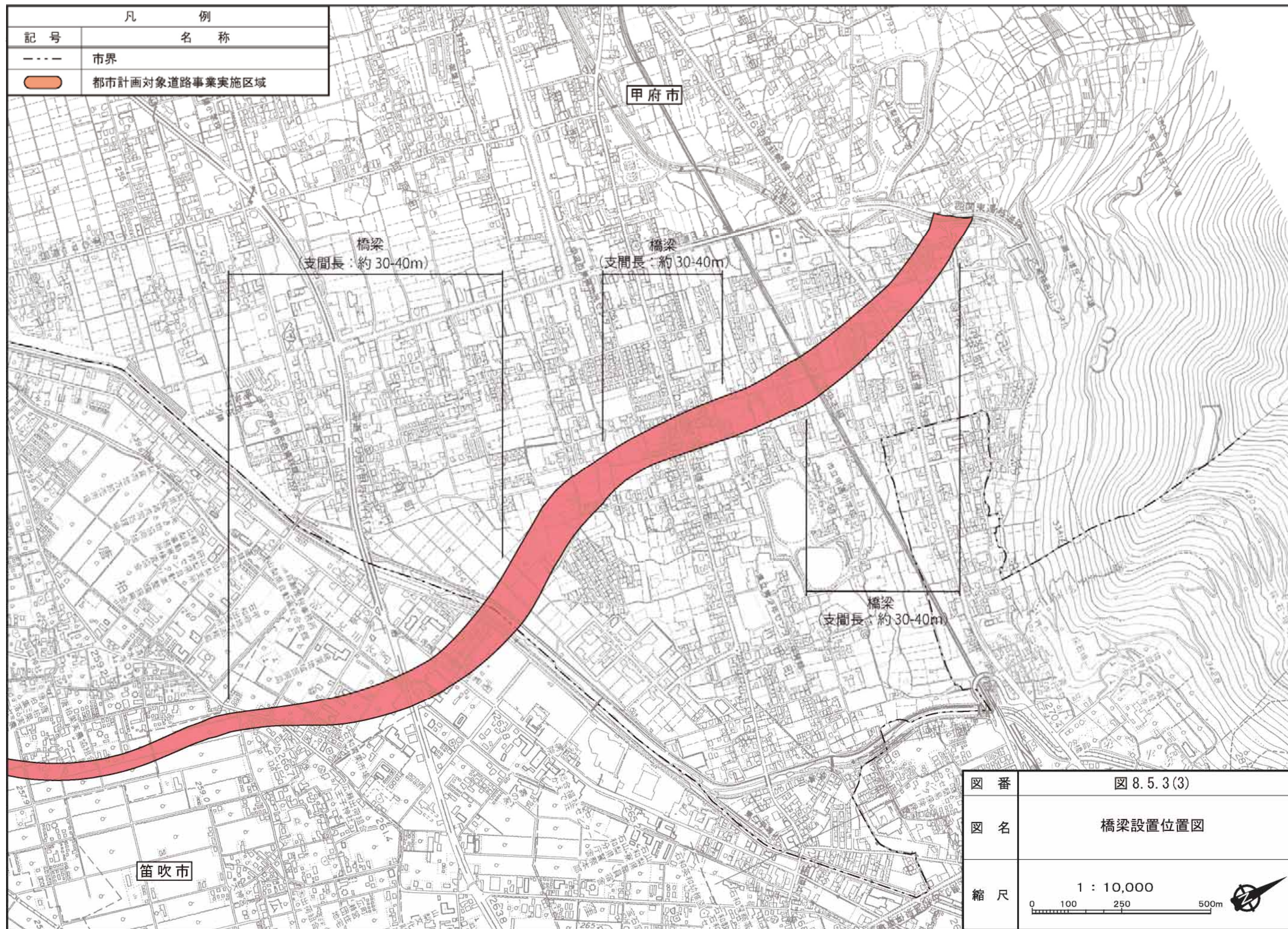
- ・ 沖積層で上部は砂やシルト、下部は砂礫を主体としている。
- ・ N値は深度8m程度までで6~49であるが、深度2m程度までは小さく、緩い地盤である。

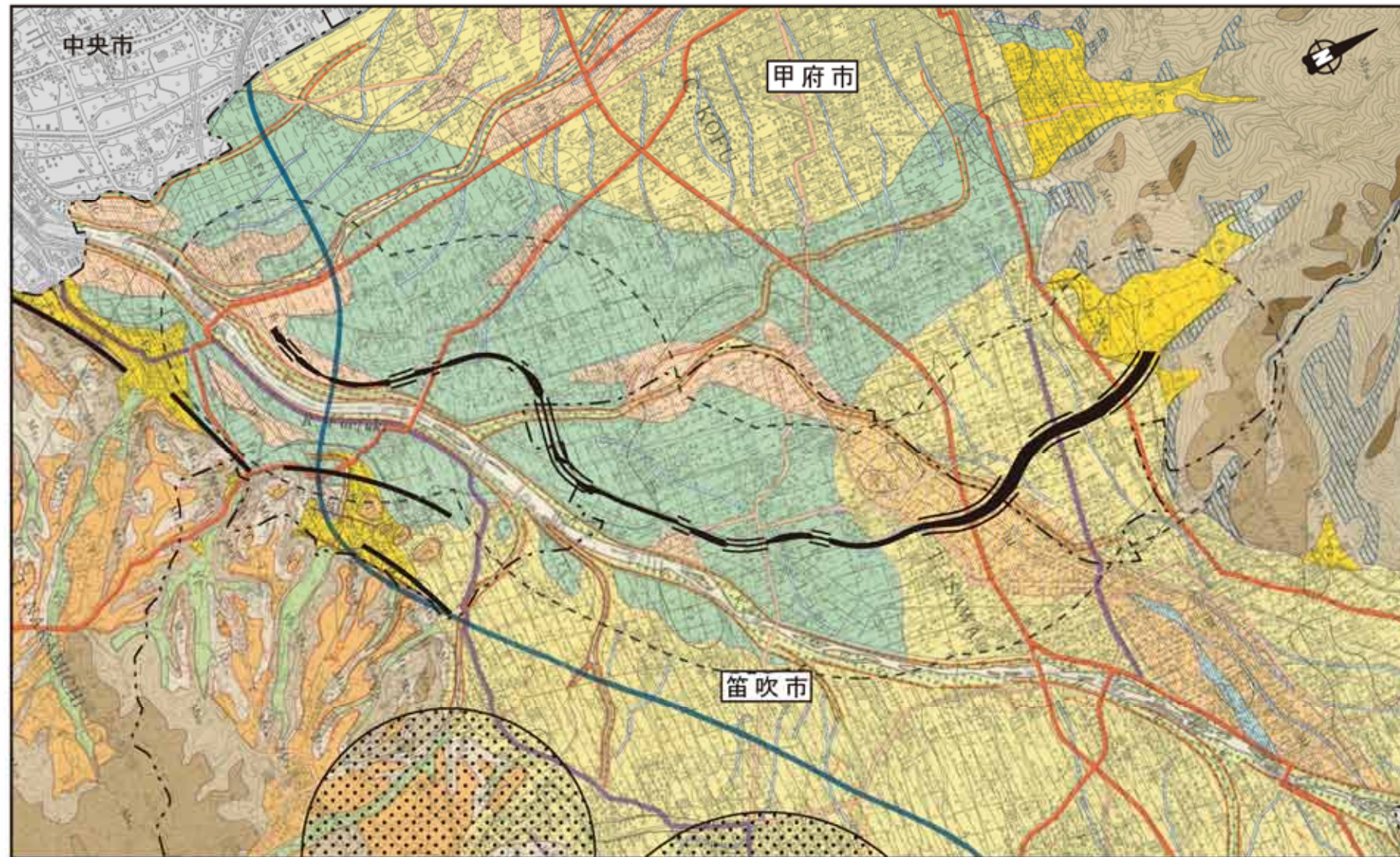
地点	地盤高さ	地下水位	深度
A	254.50m	251.40m	-3.10m
B	254.02m	252.52m	-1.50m
C	254.71m	253.51m	-1.20m
D	255.44m	253.39m	-2.05m
E	259.91m	258.31m	-1.60m
F	260.65m	259.06m	-1.60m

凡 例	
記号	名 称
---	市界
橋梁 ——	都市計画対象道路事業実施区域
(---)	調査地域
○ A~F	既存ボーリング調査の地下水位及びN値調査地点

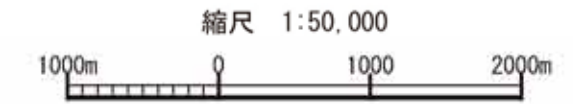








図番	図8.6.1
図名	地形調査位置図



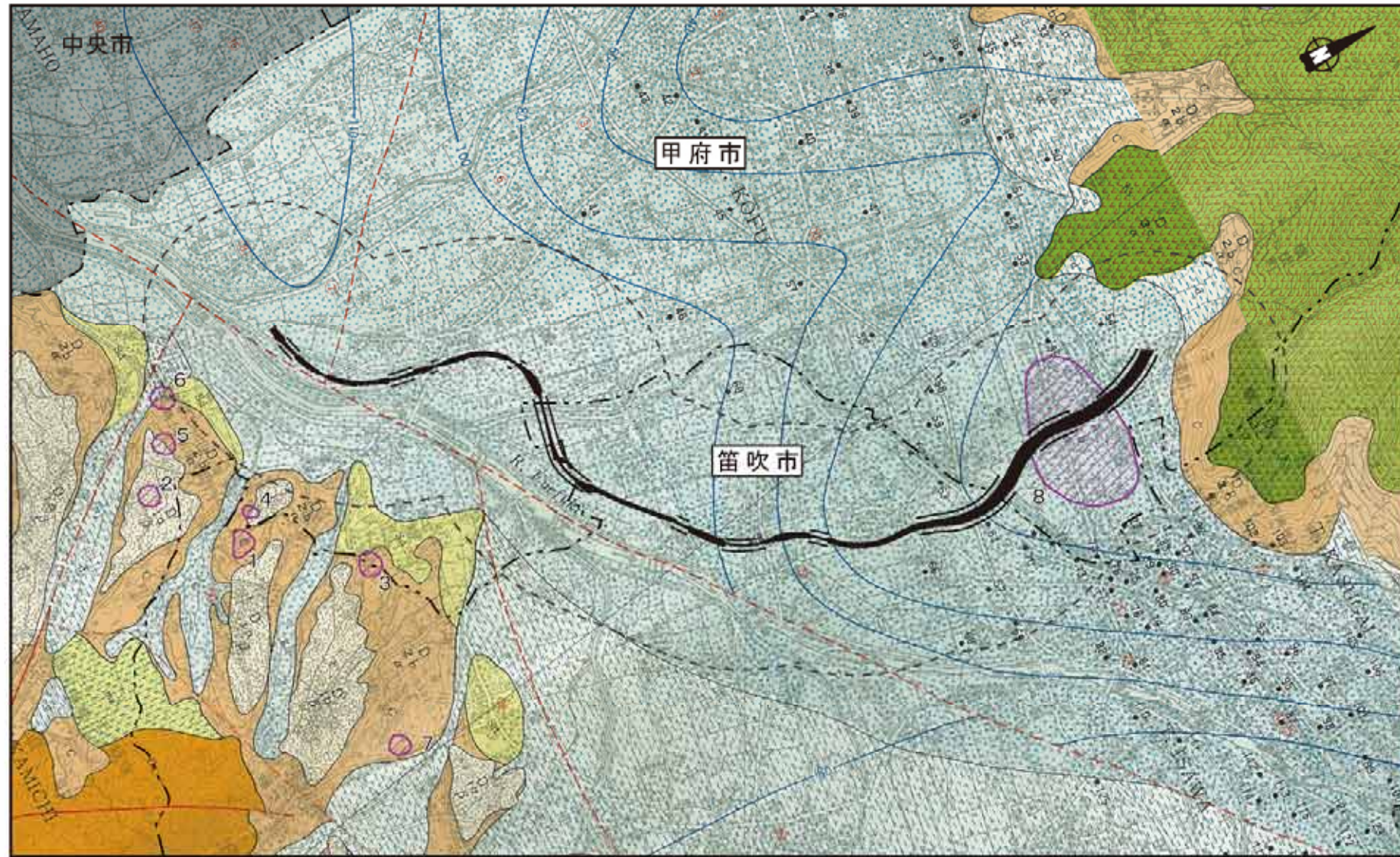
出典：「土地分類基本調査 土壤図（甲府）」
 (1984年3月 山梨県企画管理局土地水対策課)
 「土地分類基本調査 土壤図（御岳昇仙峡）」
 (1985年3月 山梨県企画管理局土地水対策課)
 「日本の地形レッドデータブック
 第1集 新装版 -危機にある地形-」
 (2000年12月8日 古今書院)
 「日本の地形レッドデータブック
 第2集 新装版 -保存すべき地形-」
 (2002年3月23日 古今書院)

注) 「曾根丘陵の断層地形」に関しては、出典に分布位置が示されていないため記載していない。

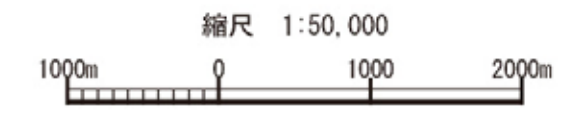
地形分類図 凡例

記号	名称	記号	名称	記号	名称
火山地		台地・低地		崖、比高50~100m	
Vs1	火山斜面>40°	低地8°~3°		崖、比高10~50m	
Vs2	火山斜面>30°~40°	低地3°~1/2°		崖、比高10m以下	
Vs3	火山斜面>15°~30°	低地1/2°~1/4°		その他	
Vs4	火山斜面>15°	T	砂礫台地	人工平坦地	
火砕流地		F	扇状地	活断層、顕著なリニアメント	
山地・丘陵地斜面		開折扇状地		堤防	
Ms1	山地斜面>40°	小扇状地		主要分水界	
Ms2	山地斜面>30°~40°	Fs	開折小扇状地	地形界	
Ms3	山地斜面>15°~30°	B	旧中州、ポイントパー	高速自動車	
Ms4	山地斜面>15°	旧流路		国道	
	山頂および山稜平坦面、顕著な凸形斜面	Vp	谷底平野	主要地方道	
	顕著な凹形斜面	古期土石流斜面		県道	
	崩壊地	現河床			

凡例	
記号	名称
---	市界
橋梁	都市計画対象道路事業実施区域
(---)	調査地域
—	曾根丘陵の新时期断層変位地形
●	一宮町周辺の扇状地群



図番	図8.6.2
図名	地質調査位置図



出典：「土地分類基本調査 表層地質図（甲府）」
 (1984年3月 山梨県企画管理局土地水対策課)
 「土地分類基本調査 表層地質図（御岳昇仙峡）」
 (1985年3月 山梨県企画管理局土地水対策課)
 「山梨県天然記念物緊急調査報告書 -地質・鉱物-」
 (平成8年 山梨県教育委員会)

凡例	
記号	名称
---	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
(---)	調査地域
	重要な地質

表層地質図 凡例

未固堆積物	砂礫質沖積層	多々岳火砕流	噴地火砕流	断層および推定断層	A 堆積世
	砂礫質沖積層・扇状地堆積物	多々岳遺流(角礫石安山岩)	水上火砕流	地層の境界(整合)	D 洪積世
半固結堆積物	沼沢堆積物・土石流堆積物(笛吹川扇群)	黒富士火山群貫入岩(岩英安山岩)	須玉火砕流	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	Tn 新第三紀
	湖成堆積物(曾根層群-シルト・砂礫・火山砕屑物)	黒富士火山群火砕流	両峰石安山貫入岩	柱状断面位置および番号	Tp 古第三紀
	ローム層	八ヶ岳火山泥流	両雲母花崗岩	断面位置図	1 軟
固結岩類	石英安山岩質凝岩・副貫火山砕屑岩	片山火砕流	両雲母花崗岩	温泉位置および番号	2 中
	泥岩・砂岩・玄武岩質凝岩・同貫火山砕屑岩およびホルンフェルス	湯村火砕流	黒雲母花崗岩		3 硬
	玄武岩質凝岩・同貫火山砕屑岩およびホルンフェルス	頼山・兜山火砕流	石英閃緑岩		4 軟
	千枚岩・硬質砂岩およびホルンフェルス	天狗山火砕流	花崗閃緑岩		5 中
	千枚岩・珪質粘板岩	水ヶ森火砕流			6 硬い
					7 浅い風化
					8 中程度風化
					9 深い風化

重要な地質 一覧

- 日向林の佐久シルト層
- 佐久シルト層、堆積構造が見られ、ヒシの実の化石の産出する露頭
- 佐久シルト層および植物化石等が観察可能な沢
- 曾根層群の層序及び地質構造を知ることができる露頭
- 曾根丘陵層序及び曾根層群の地質構造を知る露頭
- 佐久活断層
- 藤堂活断層群
- 甲府盆地地下の始良Tn火山灰(AT)層

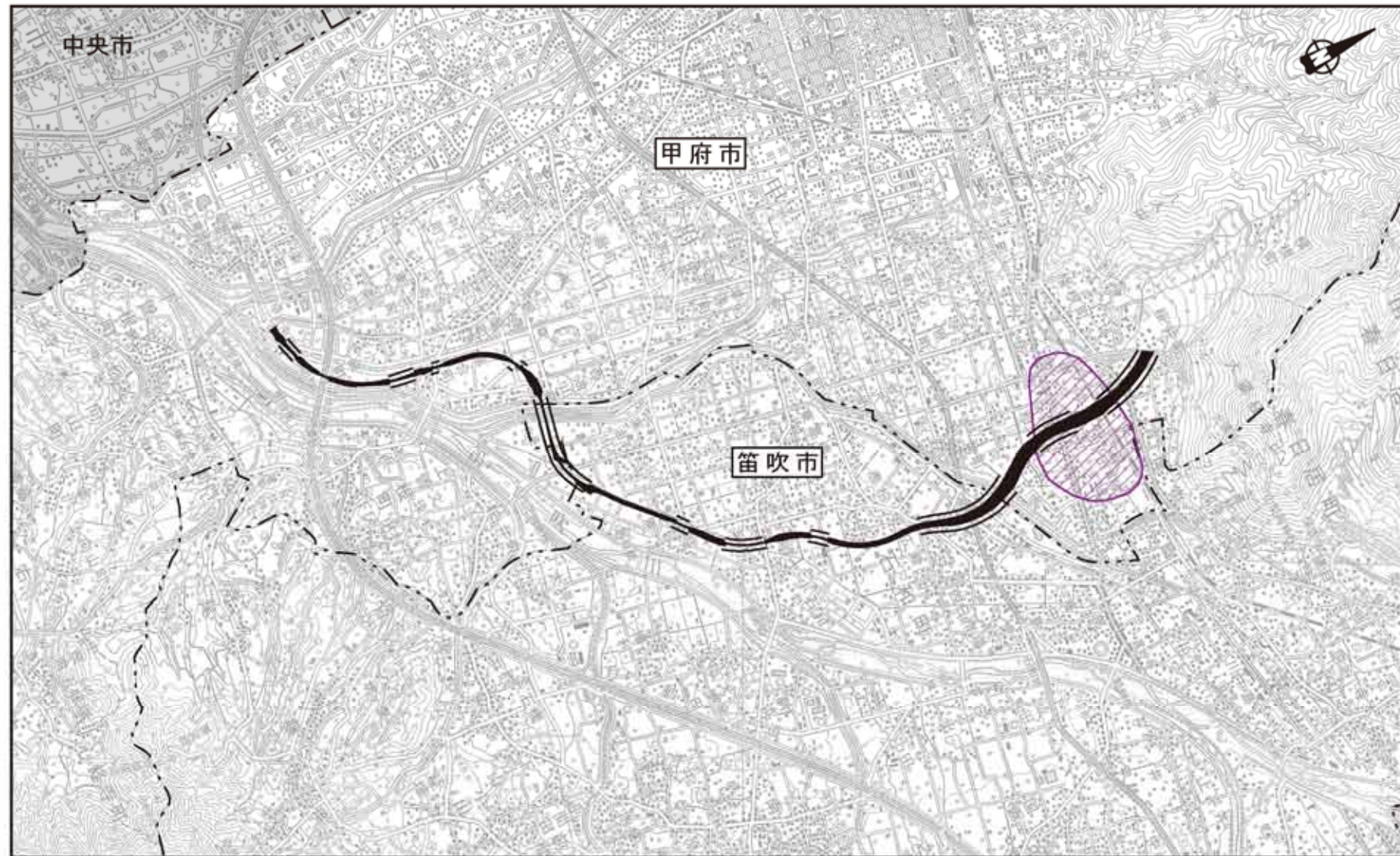
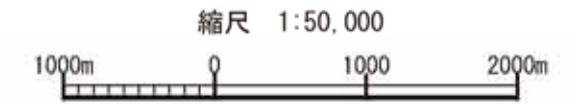


図 番	図8.6.3
図 名	重要な地質体の予測地点位置図



出典：「地質図幅 一甲府一」
 (平成14年 独立行政法人産業技術総合研究所
 地質調査総合センター)
 「山梨県天然記念物緊急調査報告書 一地質・鉱物一」
 (平成8年 山梨県教育委員会)

重要な地質 一覧

・甲府盆地地下の始良Tn火山灰(AT)層

凡 例	
記 号	名 称
---	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
	重要な地質